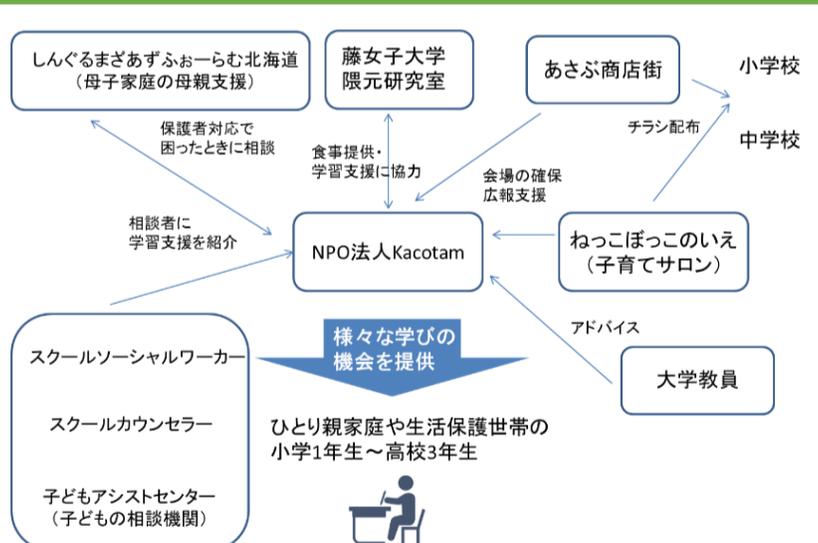


活動名	子どもたちの「やりたい」をカタチにする 学びの場づくり	団体名称	特定非営利活動法人Kacotam
		活動テーマ	経済的困難を抱える子どもを支援する活動
		活動の目的	①学習支援活動
■申請書の活動概要<150~200字>		■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
経済的理由や家庭環境等により学びの機会が失われている子どもたちを対象に学習支援を行う。日々の五教科のサポートに合わせて、高校・大学受験生に対する受験対策勉強会や将来就きたい職業についている方にインタビューを行うキャリア学習など、子どもたちのニーズに合わせて学びの機会を提供する。また、普段の関わりの中で出てきた子どもたちの「やりたい」ということをプロジェクトとして具現化する。		2017.9~2018.8 (随時)	【五教科の学習サポート】 エルプラザ拠点、琴似会館拠点、へるすたでい拠点、ねっこぼっこのいえ拠点の4拠点において活動を開始する。 ・エルプラザ拠点:土曜日月3回18時半~20時半 ・琴似会館拠点:月曜日月3回19時~20時半 ・へるすたでい拠点:水曜日月3回18時半~20時半、土曜日月3回10時~12時(午前部)、13時~15時(午後部) ・ねっこぼっこのいえ拠点:土曜日月1回~2回(隔月2回)14時~16時
■活動目標	経済的理由や家庭環境等により学びの機会が失われている子どもたちが学びの機会に出会い、自己実現に向けて挑戦できる社会		
■長期成果	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮世帯の高校生を中心に学習のニーズが満たされていない子どもたちに学びの機会を提供する 進路や奨学金、生活、家庭等の悩みを相談する場となる 目標となる「こと」、「仕事」、「人」をもつきっかけをつくり、スマートフォンへの依存を緩和する 		
■活動風景			
	<琴似会館拠点学習風景>	<お仕事カコタムインタビュー風景>	<エルプラザ拠点学習風景>
■上期の成果と下半期に向けた改善点		■実施体制	
<p>【上期の成果】 各4拠点において、学習支援活動を継続的に実施することができた。その活動なかで出てきた「将来なりたい」に基づくお仕事カコタム、「やりたい」に基づく子どものやりたいをカタチにするプロジェクトはそれぞれ2件ずつ実施することができた。 学習支援活動の標準化に向けて「拠点運営」「OJT研修」「情報共有戦略」「モチベーションアップ」「現場力」に分け、ミーティングを実施した。その結果、新メンバー向けのマニュアル作成、情報共有のための団体独自のシステム「カコタムポータル」の開発・改善を図った。またノウハウ蓄積のためのシステム「カコタム知恵袋(仮)」を開発するための下地を検討した。</p> <p>【下期の改善点】 ①人手不足の解消 全拠点において、ボランティアの人手不足に悩むことが多かったため、採用チームを立ち上げ、戦略的にボランティア確保に向けて施策を考え、実施していく。 ②子どものからの情報の活かし方を改善 普段の学習支援活動における子どもの「好き」「興味」「ギモン」などの子どもの声の拾い方や共有の仕方が不十分で、収集した子どもの情報をお仕事カコタムや子どものやりたいをカタチにするプロジェクトに十分に生かすことができなかった。そのため、かたち化チームによる情報の仕分け、仕分けた情報の共有方法、それに必要なシステムなどを検討、実施、改善活動を実施する。 ③学習支援活動の標準化 各々のメンバーが持っているノウハウをどのように団体のノウハウとして蓄積していくのか、その蓄積したノウハウをどのように整理するのかを検討し、カコタム知恵袋を運用し、改善活動を行っていくことを中心に進めていく。</p>		 <p>①支援を必要としている子どもたちとつながるために様々な相談機関やNPOと連携 ②藤女子大学隈元研究室の協力を得て食事提供を行う。 ③子どもとの関わり方や保護者への対応において、各々の専門分野の大学教員のアドバイスを得ながら質の担保を図る。</p>	
〒 065-0025 (住所) 札幌市東区北25条東6丁目3-2 (団体名) 特定非営利活動法人Kacotam (ホームページ): https://kacotam.com/		助成金額 1,000,000円	助成期間 H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。